



「きゃべつの会」は京都市下京区・南区にお住まいのがん患者さん、ご家族がお茶を飲みながら交流し生きる力を取り戻す「地域の患者サロン」(下京西部医師会主催)です

ご挨拶

会長 中野 昌彦



きゃべつの会の患者会の皆様、実行委員会の皆様、会長の中野昌彦でございます。普段は欠席がちで大変失礼をしておりますが、会の刊行物、会議の議事録等にはちゃんと目を通して実施された行事の内容は概ね把握は致しておりますのでどうかご容赦頂きます様お願い申し上げます。

この会は、下西管内の医療機関の医療者と患者様及びその家族の皆様が、お互い胸襟を開いて気軽に何でも、時にはお茶でも飲みながらお喋り出来る場を目指しております。そして、そこには新たな気付きがあり、それを糧に今まで以上にお互いを理解し、心を込めて皆様に寄り添える様、知恵を出し合い切磋琢磨している場でもございます。

まだ発足して間もない会ですので、この会の進め方につきまして、今後とも皆様からいろいろご意見・アドバイス等を頂戴し、この会が患者様、ご家族の皆様にとりまして心が通い合う実のある会であります様、そして何より我々医療者はこの場を通して今まで見えていなかったことに気付き新たに医療者として成長する機会を得させて頂いたことに感謝しながら、この会を進めて参る所存でございますので今後とも宜しくご指導お願い申し上げます。結びに、私が医療者として最も大切にしている言葉をお示しし、会誌の冒頭の挨拶に代えさせて頂きます。

Listen to the patient, he is telling you the diagnosis.

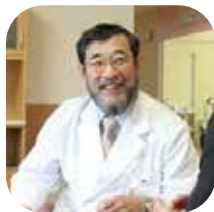
(患者さんの言うことに耳を傾けなさい、患者さんは正しい診断を言ってますよ)

きゃべつの会



京都南病院分院伏見診療所

川上 明



12年前還暦を迎えた時若い人たちに「還暦ってなんだ」と聞くと返ってくることは同じようなことでした。

「何かがめぐるってこのでしょ」何かがめぐるのかわからない。じゃ「あなたの干支は何?」と聞くと「辰です」「ウサギです」等々。

「干支は何、と聞いてるんだけど、、、」という「だから、、、です」。「それは干支の支じゃない。干支は?」

返事は「???'」

即座にお答えになるのはおそらく年配の方ではないでしょうか。若い方々は、「ああ、それなら少し知ってます。丙午(ひのえうま)とかいうやつですよ。でも他は知りません」。なぜか「丙午」だけは知っている。私も実はあまり知らなかったのですが20年近く前緩和ケアを始めた頃お年寄りの患者さんから教わりました。十二支は分かるが十干が覚えられないという、「そんなの簡単(彼女にとっては)よ。きひつかみ、と覚えたらいいのよ」きのえ、きのと、ひのえ、ひのと、、、なるほど!



お聴きます

今回の会報誌の担当は
下京西部医師会です

【友だち登録にはLINE アプリが必要です】

- ①スマートフォン等でQRコードを讀取ってください。
- ② ID検索LINE アプリで「友だち追加」「ID検索」で「@903NUYTA」を入力してください



発行：一般社団法人下京西部医師会

〒601-8452 京都市南区唐橋
堂ノ前町15-9 エステート南ビル301
☎075-693-3900 ㊟075-693-3911

2023年度 活動報告

下西医師会 前田 康秀



今年度は3カ月毎に年4回 会誌を発行しました。2023年度は6月、9月、12月に5つの会場で「きゃべつの会 患者会」を開催しました。来年度は一堂に会して「きゃべつの会」を開催することを目指していきたいと思います。

《主な活動内容》

●きゃべつの会 患者会開催

(5会場：京都九条病院、京都南病院、康生会武田病院、やすだ医院、前田クリニック)
2023年6月3日(土) 患者会 23名参加
2023年9月9日(土) 患者会 26名参加
2023年12月9日(土) 患者会 29名参加

●きゃべつの会 会誌発行

3月 第9号 (京都南病院担当)
6月 第10号 (康生会武田病院担当)
10月 第11号 (京都九条病院担当)
12月 第12号 (下京西部医師会担当)

●実行委員会 WEB会議 (12回開催)

2023年1月25日、2月22日、3月22日、4月19日、5月24日、
6月28日、7月26日、8月23日、9月27日、10月25日、
11月22日、12月27日



実行委員

一言メッセージ

■まだまだ病院ではいろいろな活動が制限がされており、不安になる方も多くいらっしゃると思います。患者さん同士がお話することにより少しでも不安が解消できる場として「きゃべつの会」が貴重な場になるようにサポートしていければと思っております。お一人でも多くの方に参加していただけるのを楽しみにしております。

康生会武田病院 患者サポートセンター 吉田 怜史

■対面することが日常に戻りつつある今年。当たり前の日常は決して当たり前じゃない。会って話すことの素晴らしさを噛み締めています。これからも末永くきゃべつの会の皆様とお会いできますように。

京都南病院 吉岡 真弓

■季節外れの暖かさや急な寒気など服装選びに困りますが、澄んだ空気や空がとても心地よい季節ですね。これから本格的な寒さがやってきますので、どうぞ温かくしてお過ごし下さい

医療法人同仁会(社団) 同仁会本部 業務推進室
前田 留里

■早いもので愛媛に越してから1年半が経ちました。愛媛は正岡子規の生誕地であり、俳句が盛んな土地です。

先日、がん関係の研究会で夏井いつきさんの講演を聞く機会がありました。『俳句を読むことは自分を外から眺めることになるのよ』、『俳句は簡単。その日あったことを12字でまとめたら、あとは季語をつけたらいいだけ』。うろ覚えですが、そんな話だった様に記憶しています。

そう言えば、最近見ているがん患者さんが『病気になるおかげで、どんどんいい俳句ができるんです』とおっしゃられていました。句集ができたらくださるそうです。僕もはじめてみようかな？

十全総合病院 北川 一智

■患者会に参加してくださった方へいつも診察室で病気の話しかしていませんが、患者会に参加すると、皆さんの普段の生活が見えてきて、新鮮に感じます。いつもの診療がかなり表層的になってしまっていることが、こういう会を通じて実感できています。これからもよろしく願います。

新京都南病院 廣間 文彦

■急に寒くなりましたが、お体ご自愛下さい。行動制限のない年末年始です。皆さま楽しみましょう。

京都九条病院 稲田 聡

■がん患者さんの笑顔に囲まれて回を重ねる度にきゃべつの会に来られる方が増えてきた。新しく参加された方も最初は緊張しておられたが、すぐ輪に入ってしまう。カフェではとくにテーマも決めず珈琲を飲み、お菓子を食べて和気藹々。笑顔が良いね。

やすだ医院 安田 雄司

■患者会の皆様、今年も早くも年末を迎え懐かしくされていると思います。今年は、Web開催ではありますが、患者会を再開することができ、皆様と楽しいときが過ぎて喜んでいきます。ありがとうございます。来年も、回を重ねていければうれしいです。

康生会武田病院 永田 一洋

■年末に向けて冬本番の寒さです。今年はきゃべつの会で皆様と出会う機会が増えたことは嬉しいことでした。また皆様と私達が共にできることを考えていきたいです。

ご意見ご要望をお待ちしています。
京都九条病院 看護部 高安 郁代

●編集後記●



今年一年、きゃべつの会 患者会にご参加いただきありがとうございました。来年もお元気で笑顔な皆さんにお会いできることを楽しみにしております！

下西医師会事務員3人とスポーツジム仲間(87歳、82歳、70歳、67歳)の合計7人で、福井までカニを食べに行ってきました！

バイキング60分で11000円で越前かきのタグ付き夫婦かにとお刺身など海の幸満載でお腹いっぱいになるまで食べました！

その後はやはりお口直しに甘いものをですよね！福井市内まで足を延ばしてフルーツパーラーでグラスから落ちそうな程のパフェをしっかりといただいて冬の楽しい日帰り旅行でした。いっぱい食べて、いっぱい笑って、皆さまに笑顔のおすそわけができるよう来年も頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。(下京西部医師会事務所)

